

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
主管課名	環境安全課		
関係課名	市民課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・公害のない安全で快適な生活環境が保たれています。 ・市民や事業者の環境保全の意識が高まっています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・環境問題に配慮し、近隣の迷惑にならないように騒音、振動、排水などに留意します。
	行政	・環境監視体制の充実及び指導、パトロールの強化並びに環境保全や啓発活動を行います。
	その他(地域)	

市民意識調査結果	< 施策満足度調査結果 >				
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	0.207	0.193	0.200	0.146	
	< 施策重要度調査結果 >				
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		0.700	0.779	0.614	

施策のトータルコスト	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	6 (5)	5 (3)	4 (2)	
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)	1 (0)	1 (0)		
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (4)	4 (3)	3 (2)		
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	5,634	5,136	10,906		
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	4,256	4,119	3,284		
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	1,378	1,017	7,623		
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	11	9	8		
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	1,840	2,440	2,400		
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	8,094	10,233	10,517		
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	13,728	15,369	21,423		
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	127	117	250	
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上	円	—	—	183	232	241	
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)							
同上	円	—	—	310	349	492		
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)								
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
基本事業名①		公害の防止	
基本事業①の目的(意図)		身近な生活環境が良好に保たれるように大気汚染、水質汚濁、騒音などを監視し、測定体制の充実を図ります。また、環境汚染などの未然防止や日常生活に密着した近隣公害の防止を図るため、事業者及び市民への環境保全にかかる指導などを推進します。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		【公害防止対策事業】 ・地下水位常時観測(5箇所)、河川水質調査(鴨川、角川、片貝川)、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査、環境騒音調査等を行い生活環境が良好に保たれていることを確認しました。また、公害苦情等があった時には、調査を行うとともに指導・改善の指導を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
典型7公害の苦情受付件数	件	38.0	37 29	37 29	36 39	36 25	36 37	35	30
河川の水質の調査の結果が環境基準を達成している割合	%	100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 94.0	100.0 100.0	100.0 98.0	100.0	100.0

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 公害防止対策事業	3,703,000	3,283,637	419,363	A	環境安全課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合 計			3,703,000	3,283,637	419,363		

基本事業概要シート②

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
基本事業名②		環境保全活動の推進	
基本事業②の目的(意図)		市民への情報公開、団体の保全活動への支援を行うとともに、環境保全活動と一体となった環境教育を推進します。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【環境保全啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第20回環境フェスティバル」を開催(H26.9.27 ありそドーム)し、企業、団体等による環境美化及び保全活動を紹介するとともに、市民の環境保全に対する意識の啓発に努めました。 <p>【環境保全活動推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の環境保全活動に取り組む団体に対し、「環境保全活動支援事業補助金」を交付しました(3団体に14万円)。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
環境の保全のための取組みを行っている市民の割合	%	—	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	66.0	80.0
			—	35.9	50.9	46.1	39.0		

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	墓地経営許可・改葬許可事務	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	◎ 環境保全啓発事業	2,140,000	2,123,329	16,671	B	環境安全課
3	一般会計	◎ 環境保全活動推進事業	5,652,000	5,499,199	152,801	B	環境安全課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			7,792,000	7,622,528	169,472		

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①公害の防止】</p> <p>◆典型7公害の苦情件数が増加しています。最多は「水質汚濁」の13件で、この内10件が、一般家庭の『灯油漏れ事案』となっています。</p> <p>◆河川の水質については、下水道や合併処理浄化槽が整備、普及されたことや市民団体等による環境保全活動が行われていることなどから、概ね環境基準を満たし水質は保全されています。</p> <p>【②環境保全活動の推進】</p> <p>◆環境保全活動に関する市民アンケート結果では、「環境保全に取り組む市民の割合」は、ここ数年50%前後で推移していましたが、26年度は大きく下がっています。(H26:実績39.0%、達成率60%)。しかし、「今後取り組みたい」と回答した市民が35.0%いることから、環境保全の意識や必要性は概ね理解、認識されていると考えられます。</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①公害の防止】</p> <p><公害防止対策事業></p> <p>◆日本カーバイド工業(株)魚津工場及びパナソニックセミコンダクターソリューションズ(株)魚津工場の排水検査を実施しました。また、地下水位常時観測(5箇所)、河川水質調査(鴨川、角川、片貝川)、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査、環境騒音調査等を行ったところ、概ね環境基準等が守られていることを確認しました。また、市民からの公害苦情等があった時には、速やかに調査を行い、指導・改善指示を行うなどの対応を迅速に行いました。</p> <p>【②環境保全活動の推進】</p> <p><環境保全啓発事業></p> <p>◆「第20回環境フェスティバル」を開催(H26.9.27 ありそドーム)し、市民の環境保全に対する意識の高揚を図りました。また、環境教育としてグリーンカーテン事業の実施、エコライフ指導等を実施しました。</p> <p><環境保全活動推進事業></p> <p>◆市内の環境保全活動に取り組む3団体に対し、環境保全活動支援事業補助金として14万円を交付し、活動の支援を行いました。</p> <p>「環境保全活動支援事業補助金 1団体あたり5万円を上限に補助」</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①公害の防止】</p> <p>◆典型7公害の苦情、処理件数が増加しており、中でも、一般家庭の灯油漏れによる河川等への流入事故が全体的にも増加しているため、市民等への注意喚起や防止のための啓発を積極的に行っていきます。また、環境基準が遵守される現状にある事業所等の排水についても、引き続き検査等を実施していきます。併せて、公害防止のための各種調査、指導等を行っていくとともに、市民等への情報公開に努めていきます。また、今後、新幹線による騒音や振動の状況についても注視していきます。</p> <p>◆近年、微小粒子状物質(PM2.5)の飛散が大きな問題となっており、健康への影響を防ぐため、市民への注意喚起等適切な情報提供に努めていきます。</p> <p>【②環境保全活動の推進】</p> <p>◆成果指標の「環境の保全のための取り組みを行っている市民の割合」が目標値の6割と低い状況です。環境フェスティバルの開催、環境保全活動団体への支援、環境教育としてグリーンカーテン事業やエコライフ指導等の環境保全事業を実施し、市民等の環境保全意識の高揚を図っていきます。</p>			

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	施策の重要度	一般
	<p>◆引き続き、事業所等の公害監視を行っていくこと。また、近年増加している「一般家庭等の灯油漏れ事案」については、市広報、ホームページ、チラシ配布による啓発や注意喚起を行い、発生防止に努めること。今後、新幹線による騒音や振動の状況についても注視していくこと。</p> <p>◆各種の大気汚染物質の監視及び連絡体制を整備するとともに、市民への情報提供に努めていくこと。</p> <p>◆市民団体等が行う環境保全等の活動が広がるよう、引き続き支援すること。</p>	

経営戦略会議における施策の課題及び方針	施策の重要度	一般
	<p>◆水質や騒音等の公害監視を継続します。また、微小粒子状物質(PM2.5)などの大気汚染物質についても監視と連絡体制を維持し、市民へ情報を提供します。</p>	